

ガイドライン適合チェックリスト

【一般住宅地】

1. 板倉らしい風景づくりのため、設計上配慮した点や工夫した点についてチェックをして下さい。

項目	工夫点
配置	風景資産等の周辺では、建物の配置や外観のデザインを工夫しましょう ✓地域のシンボルとなる大切な樹木はできるだけ保存して活かしましょう
高さ	✓周辺の建築物と同じぐらいの高さ（概ね10m以下）としましょう
形態意匠	✓屋根は勾配屋根にしましょう ✓建築物全体でデザインや色彩をまとめましょう 建築設備や屋外階段、ごみ置き場等は、周りになじませましょう 長大な壁面はつくらないように工夫しましょう
色彩・素材	✓地域で多く使われている素材や暖かみのある色彩を使いましょう
敷地の緑化・外構	✓道路から見える場所には、できるだけ緑を設けましょう ✓門や塀には、木などの自然素材を使い、生け垣や石積みなどとしましょう ✓駐車場の周囲は、できるだけ緑によって囲いましょう 擁壁はできるだけつくらないようにして、表面を緑などで覆いましょう
屋外広告物	広告物は自家用のものだけにして、屋上には設置しないようにしましょう 最小限の大きさ・数に止め、文字はできるだけ少なくし、派手な色彩の使用は避け、落ち着いたデザインのものとしましょう

2. 上記のチェックを踏まえ、設計上、特に配慮した点や工夫した点について記述して下さい。

ゆったりとした敷地利用が多い周辺の状況を踏まえ、通り側に前庭を配置し、隣地境界から壁面を後退させるなど、建物の配置を工夫した。勾配屋根が連続する緩やかなスカイラインに配慮して、屋根は勾配屋根とし、周辺と同様に平入りの向きとした。屋根瓦や外壁は、暖色を基調として、建物全体でのまとまりや隣接する和風住宅等との調和に配慮した色彩や素材を選択した。

アパート名の表札は、名称だけのシンプルなデザインとして、建物の外観と調和するよう、色彩等を配慮した。

記入例

参考：可能な範囲で、行為の場所の周辺の風景の特性をお書き下さい。

隣接地やお向かいの建築物等の様子

西隣は、漆喰壁・いぶし瓦の和風の戸建て住宅であり、比較的大きな敷地に建てられている。東側は、10年程度前に建てられた住宅だが、いずれも、高木の屋敷林や防風林の役割を持った生け垣など、敷地内に緑が豊富に植えられている。

当該地域の風景の特性

(建築物の用途や階数、緑の状況、多く使用されている素材・色彩)

周辺は、敷地面積の大きな戸建て住宅で構成され、主に2階建ての建物が立ち並んでいる。建物の大半が平入りの勾配屋根となっており、古い住宅ではいぶし瓦などが使われている。建物の外観は、ベージュや白に近い色など、暖かみのある色彩のものが多く見られた。道路沿いは、生け垣や石積みの塀と塀越しの庭木等が続く、気持ちのよい通りが多い。

このように、ゆとりある敷地利用と豊かな緑で構成された風景が特徴的な地域である。

その他の風景の特性(屋敷林、水路、水塚等の風景資産となりうるもの等)

高さ10~20mの高木の屋敷林がある敷地が多く、屋根越しにそれら緑が見えている。